

SDGsの時代に

菊川市では地球に優しい環境に配慮した高品質な茶の生産を行っています

豊かな生物多様性を育み、環境と共存する伝統農法

世界農業遺産 静岡の茶草場農法

【世界農業遺産とは】

社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、ランドスケープ及びシースケープ、農業生物多様性などが相互に関連して一体となった、世界的に重要な伝統的農林水産業を営む地域（農林水産業システム）であり、国際連合食糧農業機関（FAO）により認定されます。

【茶草場農法とは】

高品質な茶生産のため、通常の茶栽培に①～④を組み込み手間暇かけた伝統的な農法となります。

- ①晩秋に草を刈る
- ②刈った草を乾燥させる
- ③乾燥した草を裁断する
- ④茶園の畝間に敷く



古くからの伝統農法を継承し、日頃から環境負荷低減に取り組み、『高品質でありながら地球にやさしいお茶づくり』を実践している生産者を紹介します。

丸五倉沢園（くらさわえん）	岩沢園（いわさわえん）
有限会社青野園（あおのえん）	ヤマキ鈴木製茶（やまきすずきせいちゃ）
水野園（みずのえん）	丸西製茶青野園（まるにしせいちゃあおのえん）
堀川園（ほりかわえん）	上倉沢茶農業協同組合（かみくらさわ）
六郷茶農業協同組合（ろくごう）	西富田茶農業協同組合（にしとみた）
西方茶農業協同組合（にしかた）	鈴木 知一
小原 弘治	伊藤 正巳
安松 伸幸	岩澤 武好
赤堀 孝次	青野 隆

伝統農法の茶草場農法による茶葉を使用した商品のご購入や現地見学などのお問合せをお待ちしております。

詳細はこちらをご参照ください↓

<https://www.chagusaba.jp/>